

耕作放棄地を活用して障がい者の農業就労を支援 (NPO法人農業で古里創りNPO)

＜法人の概要＞

所在地：愛媛県松山市

設 立：平成 15 年 8 月

売上高：2,200 万円（平成 22 年）

（うち農業：500 万円、うち農業関連事業：1,700 万円）

役 員：4 名（うち農作業従事 3 名）

従業員数：41 名、うち農業従事者 39 名

経営面積：2.5ha 営農作物：米、野菜、果物

農業開始時期：平成 22 年 9 月



農場の一部（ハウス部門）



タマネギの除草作業

＜農業参入に至った経緯・動機＞

60 歳で会社勤めを定年退職。耕作放棄地の多いこと、障がい者のリストラの多いことに憤慨し、何か社会の役に立つ事をと考え、親譲りの農地を基に障がい者の就労場所としてNPO法人を起ち上げた。耕作放棄地を利用した農業で今では障がい者の定員 40 名近くに働いてもらう規模になった。

＜農業参入することを決めてから営農開始まで＞

農地の確保については、親譲りの農地 3 反及び近所の耕作放棄地や不耕作地の耕作依頼により、去年は約 2.5ha になっている。作物の決定については、①売れる物②新しい物③こだわりのある作物を中心に選択し他社との差別化を計りオリジナル化を出して素利益率の上がる物へと変更している。機械の導入については幸いな事に共同募金や農機具メーカーとのコラボによる補助を受けている。

＜営農開始から現在まで＞

販路の確保

松山市内近郊を含めて 10 箇所の産直及び直売所にて販売中であるが、品物補給が間に合わないのが現状である。

栽培技術

技術は未熟であり、時々(年に 2 回ぐらい)普及センターの指導を受けた事がある。

地域への配慮

耕作放棄地の引き受けや地元からの雇用は我社のモットー。地産、地消、地労(地元雇用)による、地活(地域の活性化)なので地域の皆様や地元行政の皆様には多大なるご協力を頂いたが、金銭的あるいは物的な支援は受けていない。

＜今後の農業経営の展開方向＞

経営規模

今の人数ならば限界ではないかと思うが、後は機械化による省力化又は品種のオリジナル化による利益率の拡大化、具体的にはマンゴーやパイン等高級な果物の栽培、そして野菜果物の 1 次、2 次加工生産による雇用の拡大を図るとともに、販路については直販場及びネット販売による会社の拡大と売上の拡大を図りたい。